

ニューズマガジンの舞台裏

—1970年代フランスのジャーナリズム界に
おけるネットワーク形成に着目して

講師：中村督 氏（北海道大学大学院法学研究科教授）

2023年11月25日(土) 17:00～19:00

オンライン（ZOOMミーティング）

フランスのメディア史上、1970年代はニューズマガジンが活況を呈した時代として位置づけられている。実際、新聞市場が縮小する一方で、ニューズマガジンの三誌（『レクスプレス』、『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』、『ル・ポワン』）は販売部数を伸ばし続け、フランス社会に浸透していくことになる。しかし、ニューズマガジンの舞台裏に焦点を合わせて分析すると、この時代、ジャーナリスト、政治家、官僚、知識人たちによるネットワークが多様な軸で（再）編成されていることがわかる。本講演では、1970年代のジャーナリズム界において人的ネットワークがどのように形成されていったのかを考察したい。そのうえで、ニューズマガジンの関係者らが、それぞれ異なる思想や理念を抱えながら、68年5月の余波を受けてどのように新しい「情報」のあり方を模索していたのかを明らかにする。

中村督（ただし）

フランス社会科学高等研究院博士課程修了。南山大学准教授を経て、2022年より北海道大学大学院法学研究科教授。専門はフランス近現代史。主な著作に『言論と経営：戦後フランス社会における「知識人の雑誌」』（名古屋大学出版会、2021年。2021年度渋沢・クロデル賞受賞、2021年度第43回日本出版学会賞受賞）、ピエール・ロザンヴァロン『良き統治—大統領制化する民主主義』みすず書房、2020年（共訳）他多数

参加自由（定員100名）
参加無料・要登録

